

☆黒い水がでる



原因	水道水には、極微量にマンガンが含まれており、水道水の消毒用で使われる塩素によって、二酸化マンガンになります。この二酸化マンガンが、給水管（本管から蛇口までの管）や配水管（本管）内に付着していき、水道管工事などで生じた水の流動変化で剥離して、水と一緒に流れることで、黒い水が出ます。
安全性	マンガンの毒性は低く、人体への吸収も低いため、多量に摂取しなければ、健康への影響はありません。
対応	一時的に黒い水が出る場合は、蛇口を開けて水が透明になるまで流してからご使用ください。長時間出続ける場合は、水道本管に原因があると考えられ、管洗浄が必要になるため、上下水道課までご連絡ください。

☆赤又は茶色の水がでる



原因	水道管内の鉄錆の剥離などで発生します。朝一番や長時間家を留守にしたときに発生しやすく、水道管工事や火災時の消火活動による水圧の変化により発生する場合があります。
安全性	鉄分は人体にとって必要な成分の一つであり、人体への吸収率も低いため、誤って飲んでしまっても健康への影響はありません。トイレや手洗いなどで使用していただいても問題ありません。
対応	黒い水と同様に、一時的に出る場合は、蛇口を開けて水が透明になるまで流してからご使用ください。長時間出続ける場合は、水道本管に原因があると考えられ、管洗浄が必要になるため、上下水道課までご連絡ください。

☆水が青く見える



<p>原因</p>	<p>水による光の吸収や散乱により、透明な水が青く見えることがあります。海や湖が青く見える現象と同じで、お風呂の浴槽など大きな容器に水を溜めた場合に、青く見えます。浴槽の色がアイボリー系やホワイト系の場合に特に起こりやすいと言われています。</p>
<p>安全性</p>	<p>水が着色しているわけではないので、水質的には問題ありません。透明なコップに水を汲んで確認いただき、無色透明であれば問題ありませんが、水が明らかに青かったり、青い沈殿物が見られたりする場合は、直ちに飲用を中止し、上下水道課までご連絡ください。</p>
<p>対応</p>	<p>対応の必要はありません。</p>

☆洗面所や浴槽等が青くなる



<p>原因</p>	<p>お風呂などの給湯設備に使用される銅管などから溶け出した微量の銅イオンが、人や石鹸の脂肪酸と反応することで、青くなります。</p>
<p>安全性</p>	<p>銅・銅イオンは、極めて毒性が低いため、健康への影響はほとんどありません。</p>
<p>対応</p>	<p>石鹸や湯垢が残らないように、こまめに手入れを行うことで防ぐことができます。また、タイル等に付着してしまった場合は、市販のアルカリ性洗剤を少量滴下してから、スポンジでよくこすり、食酢で中和して洗い流してください。</p>

☆瞬間的に白い水がでる



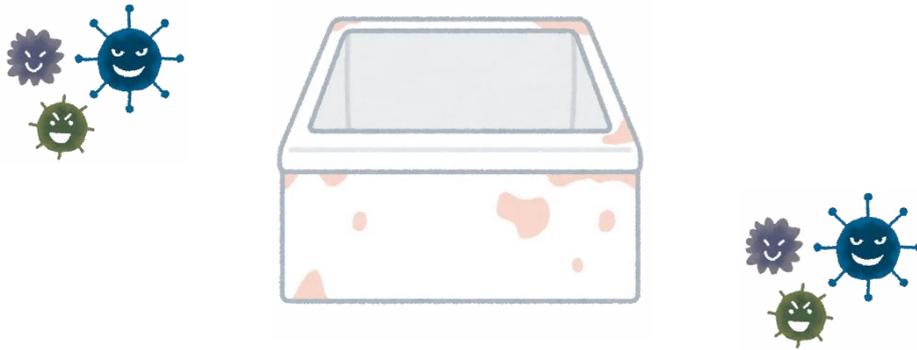
原因	白い水がでる原因として、空気が考えられます。水道管内の水は圧力がかけられているため、通常よりも多くの空気が溶け込んでいます。蛇口から強めに水を出すなどして、水にかかる圧力が低下すると、水に溶け込んだ空気がガス化して非常に細かな気泡となってでていくため、水全体が白く濁ったように見えます。
安全性	透明なコップにとってしばらく様子を見ていただき、透明になれば、問題ありません。
対応	対応の必要はありません。

☆白い水が出続ける



原因	給水管に「亜鉛メッキ鋼管」が使われている場合は、亜鉛が溶け出して、水が白く変色する場合があります。給水管内の水が滞留する時間が長くなるほど発生しやすく、朝一番や長時間家を留守にするとときに多く見られます。
安全性	亜鉛は、人体にとって必要な成分の一つであり、毒性は低く、誤って飲んでしまった場合でも健康への影響はありません。
対応	水道水をしばらく出し続けて、透明な水になってから使用してください。亜鉛の流出が進行すると、鋼管に錆による赤水が発生しやすくなるため、症状がひどいときは、宅内配管の布設替えが必要になる場合があります。

☆浴室や便器などにピンク色等のものが付着する



原因	湿気が多い浴槽の床やタイルの目地や洗面所のプラスチック容器、便器などに空気中に浮遊している細菌やカビが付着、繁殖することで、ピンク色やオレンジ色に着色することがあります。
安全性	水が着色しているわけではないので、透明なコップに水を汲んで確認いただき、無色透明であれば問題ありません。
対応	掃除及び換気を十分に行うことで、細菌等の繁殖を防ぐことができます。また、着色したものを取り除くには、換気を行いながら、アルコールや塩素系洗浄剤を使って清掃をしてください。